

新郎が結納式を仕切る(2) すべて新郎様がする場合

- (1) 新郎から新婦の親への挨拶
- (2) 結納金をお渡しする
- (3) 新婦側からの挨拶
- (4) 婚約記念品の贈呈
- (5) 新郎から皆様への御礼
- (6) 乾杯

シナリオの流れは上記のような通常通りの流れで問題はありませんが

司会進行兼あいさつ・・・ということになりますので、まずは新郎様からご挨拶をします。

(1) 新郎から新婦の親への挨拶

「今般〇〇様と私との婚約には早速ご承諾頂きまして、誠にありがとうございました。本日は心ばかりの印ですが結納のお届けをさせていただきました。幾久しくお受け下さい。」

(2) 結納金・目録をお渡しする → 新郎から渡す

(3) 新婦側からの挨拶

この辺りは自然と流れに任せて・・・といったところでしょうか。

相手様からお受けしますという返答の挨拶のあと
婚約記念品の贈呈という流れです。

セリフはこんな感じでしょうか・・・

「今日は私たち二人にとって婚約という日です。
その記念すべき日を記念して、私から〇〇さんへ指輪を贈呈したいと思います。」

二人にとっては、結納＝婚約ということで、良い記念になると思いますし、絶好のシャッターチャンスではないでしょうか？
また特に両家の親様にとってその光景は、とても感慨深いものがあるのではないのでしょうか。

(指輪がはまった瞬間一同から自然と拍手が沸き起こる・・・)かも？

婚約指輪の贈呈に引き続いて、二人が出席者のほうを向いて、ご両親への感謝、決意など二人からの気持ちを素直にお話頂いたらどうでしょうか。あいさつは男性が代表して行います。
結納式のクライマックスの部分です。ここでカッコよくあいさつが決めれば、彼女のご両親はもちろん、彼女も馬渡さんのことをあらためて惚れ直したりなんかして(笑)・・・
あんまりプレッシャー掛けるといけませんね(笑)
あいつはこんな感じでしょうか、

「本日は私達のために、このような席を設けていただきありがとうございました。
今日婚約できましたのは、ご両親のお陰と心より感謝しております。頑張って幸せな家庭を築いていきますので、今後ともよろしくお願い致します。」

(一同から自然と拍手が沸き起こる・・・)かも？

その後乾杯をして和やかな食事会へと進んでいきます。